



申 立 て の 趣 旨

任意後見監督人の選任を求める。

申 立 て の 理 由

(申立ての動機、本人の生活状況などを具体的に記入してください。)

任意後見 契 約	公正証書を作成した 公 証 人 の 所 属	法 務 局	証 書 番 号	平 成	年	第	号
	証 書 作 成 年 月 日	平 成	年	月	日	登 記 番 号	第 一 号
任意後見 受 任 者	住 所	〒		-		電 話	( )
							( ) 方)
	フリガナ 氏 名				大正 昭和	年	月 日 生 ( 歳)
	職 業			本 人 と の 関 係			
	勤 務 先			電 話	( )		

(注) 太わくの中だけ記入してください。

## 任意後見用診断書を作成される医師の方へ

(お 願 い)

さいたま家庭裁判所

日頃から、家庭裁判所にご理解とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

この度、患者さん（以下、「本人」と記載します。）の関係者から、任意後見事件申立てのための診断書作成の依頼をお受けになったことと存じます。この診断書は、家庭裁判所が申立てを受け付けるにあたって、後見等の申立ての区分\*を決める重要な資料となりますので、ご協力よろしく願いいたします。

ところで、家庭裁判所が任意後見監督人選任の審判の手続きを進めていく上でさらに鑑定を行うことがあります。家庭裁判所では、本人やご家族の負担をできるだけ少なくするために、できれば本人の状態を最も良く理解しておられる主治医又は診断書作成医師に、この鑑定を依頼したいと考えております。鑑定人の資格には診療科や従事年限等に法律上の制限はありませんし、訴訟事件における鑑定とは異なりますので、家庭裁判所に証人等としてお越しいただくこともありません。何卒、制度の趣旨をご理解いただき、鑑定につきましてもご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

鑑定をお引き受けいただける場合には、家庭裁判所が本人の関係者から鑑定の費用をお預かりした上で、正式に鑑定依頼書等を送付いたしますので、予め、鑑定の費用、鑑定に必要な期間及び書類の送付先等をお教えてください。

診断書及び鑑定書の作成方法等についてご不明な点がございましたら、裁判所にお問い合わせください。また、裁判所のウェブサイト ([http://www.courts.go.jp/saiban/syurui\\_kazi/kazi\\_09\\_02/index.html](http://www.courts.go.jp/saiban/syurui_kazi/kazi_09_02/index.html)) から診断書や鑑定書の作成の手引等をダウンロードすることができますので、ご活用ください。

※ 後見等の申立ての区分は、本人の判断能力の観点からみると次のとおりです。

後見相当：日常的に必要な買い物も自分ではできず、だれかに代わってやってもらう必要があるという程度

保佐相当：日常的に必要な買い物程度は単独でできるが、重要な財産行為（不動産、自動車の売買や自宅の増改築、金銭の貸し借り等）は自分ではできないという程度

補助相当：重要な財産行為（保佐と同じ）について自分でできるかもしれないが、本人のためにはだれかに代わってやってもらった方がよいという程度

**1 氏名** 生年月日 M・T・S・H 年 月 日生 ( 歳)

**住所**

---

**2 医学的診断**  
診断名

**所見** (現病歴, 現在症, 重症度, 現在の精神状態と関連する既往症・合併症など)

---

**3 判断能力判定についての意見** (下記のいずれかにチェックしてください。)

自己の財産を管理・処分することができない。(後見相当)  
 自己の財産を管理・処分するには, 常に援助が必要である。(保佐相当)  
 自己の財産を管理・処分するには, 援助が必要な場合がある。(補助相当)  
 自己の財産を単独で管理・処分することができる。

**判定の根拠**

(1) 見当識障害  
 ない  まれに見られる  見られるときが多い  高度

(2) 意識障害  
 ない  軽度  中度  重度 (遷延性意識障害  有  無 )

(3) 他人との意思疎通  
 できる  できないときもある  できないときが多い  できない

(4) 社会的手続 (銀行等との取引)  
 できる  できないときもある  できないときが多い  できない

(5) 記憶障害  
 ない  問題があるが程度は軽い  問題があり程度は重い  顕著

(6) 脳の萎縮または損傷  
 ない  部分的に見られる  萎縮または損傷が著しい  不明

(7) 各種検査  
改訂長谷川式簡易知能評価スケール (  点-平成 年 月 日実施  未実施  実施不可 )  
MMSE (  点-平成 年 月 日実施  未実施  実施不可 )  
知能検査 [テスト名 ] (IQ= ー平成 年 月 日実施  未実施  実施不可 )  
その他の検査

(8) その他・特記事項

**備考** (本人以外の情報提供者など)

以上のとおり診断します。

平成 年 月 日

担当医師氏名/担当診療科名

氏名

印

(

科)

病院又は診療所の名称・所在地

TEL ( )

Fax ( )

※鑑定の要・不要についてご意見がございましたら, (8)の欄にご記入ください。  
※鑑定についてのご回答は, 「診断書別紙」にご記入ください。

診断書別紙

1 裁判所が鑑定を必要と判断した場合、鑑定をお引き受けいただくことは可能でしょうか。

- 鑑定を引き受ける。
- 鑑定を引き受けることはできない。
- 鑑定を引き受けることができないが、下記の医師を紹介する。

氏名 \_\_\_\_\_ 病院等の名称 \_\_\_\_\_  
所在地 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

2 鑑定をお引き受けいただける場合は、下記の事項にチェックまたは記入してください。

(1) 鑑定料（報酬，諸経費すべて込み）について

5千円  1万円  2万円  3万円  4万円  5万円

\_\_\_\_\_円必要である。

(2) 鑑定期間について

鑑定期間は約 \_\_\_\_\_ 日間必要である。（一般的には鑑定依頼書が届いてから約1ヶ月以内の鑑定書の提出をお願いしております。）

(3) 鑑定書作成の手引について

鑑定書作成の手引の送付を

希望する。  希望しない。

(4) 鑑定依頼書等の送付先

診断書記載の病院等の所在地と同じ

下記の連絡先への送付を希望する。

病院等の名称 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_  
所在地 \_\_\_\_\_ 〒 \_\_\_\_\_

# 申立事情説明書

記入年月日及び記入者の氏名

平成 年 月 日 氏名： 印

(記入者が申立人以外の場合は申立人との関係： )

平日昼間の連絡先（勤務先，仕事場，携帯電話等）を記入してください

連絡先名：

電 話： ( )

(裁判所名で電話しても  よい  差し支える)

## 1 申立ての経緯について

(1) この申立ての主な目的は何ですか

- 預貯金の解約又は保険金，年金，家賃等の受取りのため
- 被相続人（ ）の遺産分割協議（相続放棄の申述を含む）のため
- 不動産の処分のため（売却，賃貸借及び担保設定等）
- その他の財産管理のため
- 施設入所又は福祉サービス契約のため
- 裁判所の手続（調停，訴訟等）を行うため
- その他

(2) 上記(1)の具体的内容を書いてください

(3) 「任意後見監督人選任申立ての手引」を読みましたか

- 読んだ
- 読んでない
- もらっていない

(4) 手引を読んで理解できなかったこと，さらに知りたいことがあれば書いてください

- ない
- ある（内容について以下に記載してください）

2 この申立ての内容に関して、これまでに家庭裁判所を利用したことがありますか。

ない

ある

それはいつですか：平成 年 月頃

どこの家庭裁判所ですか： 家庭裁判所 支部・出張所

申立てた人の氏名：

事件番号（存在であれば記入してください）：平成 年(家)第 号

事件名：禁治産宣告・準禁治産宣告・後見開始・保佐開始

補助開始・任意後見監督人選任・その他（ ）

### 3 本人の認識について

(1) 本人はこの申立てがされることを知っていますか

知っている

知らない(その主な理由は次のとおりである)

本人が理解できる状態でない

本人は理解できる状態だが、不安を与えたくないので知らせていない

本人が申立てに反対すると思うので、知らせていない

その他（ ）

(2) 本人が申立てについて知っている場合、本人は、申立てどおりの審判がされることに同意していますか

同意している

同意していない

わからない

#### 4 本人の親族について

(1) 申立人以外で、本人の配偶者・親・子・兄弟姉妹にあたる親族はいますか。また、その親族はこの申立てに同意していますか

(書ききれなければ別紙に書いてください)

氏名	続柄	〒・住所・電話番号	申立てへの意向
		〒	同意・反対・不明

(2) 本人の療養看護，財産管理等について，親族の間に意見の相違がありますか

ない

ある（誰と誰の間でどのような意見の相違があるか書いてください）

5 その他，申立てに関して困っていること，家庭裁判所に特に注意してほしいことがあれば記入してください。

# 本人事情説明書

記入年月日及び記入者の氏名

平成 年 月 日 氏名： 印

(記入者が申立人以外の場合は申立人との関係： )

## 1 本人の生活について

(1) 本人は現在どこで生活していますか

病院，老人ホーム等の施設で生活している

施設名：

入院(入所)日：平成 年 月 日

所在地：〒 -

電話： ( )

最寄駅： 線 駅下車徒歩・バス ( 行き ) ・車 分

転退院(所)の予定

あり (平成 年 月：転退院先 )

なし

自宅又は親族宅で生活している (同居者： )

(2) 介護認定，障害認定を受けていますか

要介護認定 (  要支援  要介護  1  2  3  4  5 )

療育手帳 (みどりの手帳) (  A  B  C )

精神障害者手帳 (  1  2  3 級 )

身体障害者手帳 (  1  2  3  4  5  6 級 )

## 2 本人の現在の状態について

(1) どんな状態ですか

認知症

事故や病気等の後遺症

知的障害

精神的な疾病

その他 ( )

(2) 本人の現在の様子はいかがですか

自分の財産の内容を理解していない

欲しいものを言葉で言えない

親しい人(家族等)の区別がつかない

言葉による意思表示ができない

本人の名前を呼んでも反応がない

排泄は全介助である

日常の買い物ができない

今日の年月日が言えない

自分の年齢を言えない

意味のある発語はない

手や足を叩いても反応がない

立ったり歩いたりできない

経管栄養（胃ろう等）である

3 本人の経歴について（わかる範囲で記入してください。）

(1) 生活歴

年 月	事 項
. . .	人兄弟姉妹の 番目として出生
. . .	最終学歴（ ）卒業
. . .	（ ）と結婚
. . .	
. . .	
. . .	
. . .	
. . .	

(2) 職業歴

年・月～年・月	勤務先名	所在地(市区町村)	仕事の内容
. ~ .			
. ~ .			
. ~ .			
. ~ .			
. ~ .			

4 本人の財産について（わかる範囲で記入してください。）

(1) 本人の財産を、現在、事実上管理しているのはどなたですか

本人

申立人自身

その他（氏名・法人名： 本人との関係： ）

誰が管理しているか分からない

(2) 本人の財産状況はどうなっていますか

別紙「財産目録」の通りである

分からない

理由：

※ 用紙が足りない時は、A4判の適当な用紙を利用してください。

(記載例) 本人の財産目録 平成〇〇年〇〇月〇〇日現在 作成者 〇〇〇〇 印

※資料のコピーの仕方については、成年後見申立の手引15頁をご参照ください。

### 1 定期的な収入

	種類	金額(月額)	管理状況等	資料
1	年金	83,000	預貯金1の口座に入金	1-1
2	家賃収入	200,350	預貯金5の口座に入金	1-2
3				
合計		283,350		

### 2 定期的な支出

	費目	金額(月額)	備考	資料
1	入院費・施設費・医療費	100,535	小遣い, 衣服費含む	2-1
2	公租公課(税金・国保料など)	12,000	固定資産税, 国保	2-2
3	借入金返済	80,465	預貯金3の口座から引き落とし	2-3
4	基本的な生活費	55,000		2-4
5				
6	その他			
合計		248,000		

### 3 預貯金

	金融機関名・支店名	種類	口座等の番号	金額	管理者	資料
1	郵便局	通常	10100-12345678	7,654,320	申立人	3-1
2	同	定額証書	54321-45678901	2,000,000	同	3-2
3	〇〇銀行〇〇支店	普通	12345678	123,300	同	3-3
4	同	定期	45678901	5,000,000	同	3-4
5	△△銀行△△支店	普通	12579321	543,200	同	3-5
合計				15,320,820		

### 4 不動産(土地・建物)

	所在地	地目・構造	用途	面積(m <sup>2</sup> )	管理者	資料
1	さいたま市高砂3-16-45	宅地	居宅敷地	101.11	申立人	4-1
2	同	木造2階建	居宅	96.96	同	4-2
3	越谷市東越谷9-34-2	宅地	アパート敷地	192.23	△管理会社	4-3
4	同	軽量鉄骨2階建	アパート	123.45	同	4-4

### 5 生命保険等(契約者・受取人が本人のもの)

	保険会社名	保険の種類	保険証券番号	保険金額	管理者	資料
1	郵便局	普通養老	90-30-01234567	6,000,000	申立人	5-1
2	〇〇生命	終身	KK-98765-333	5,000,000	本人の母	5-2

### 6 負債

	借入先	残額	月々の返済額	管理状況等	資料
1	住宅金融公庫	9,876,500	80,000	預貯金3の口座から引き落とし	6-1

### 7 その他(現金・株式・貸金債権など)

	種類・特徴等	価格	管理状況等	資料
1	△△(株) 3000株	額面500円	申立人が管理	7-1

※各項目について、記載すべき事項がない場合は「なし」、不明の場合は「不明」と記入してください。

本人（                      さん）の財産目録    平成    年    月    日現在 作成者                      印

1 定期的な収入

	種 類	金 額 (月額)	管理状況等	資料
1	年金			
2				
3				
合 計				

2 定期的な支出

	費 目	金 額 (月額)	備 考	資料
1	入院費・施設費・医療費			
2	公租公課 (税金・国保料など)			
3	借入金返済			
4	基本的な生活費			
5				
6	その他			
合 計				

3 預貯金

	金融機関名・支店名	種 類	口座等の番号	金 額	管理者	資料
1						
2						
3						
4						
5						
合 計						

4 不動産 (土地・建物)

	所 在 地	地目・構造	用途	面積 (㎡)	管理者	資料
1						
2						
3						
4						

5 生命保険等 (契約者・受取人が本人のもの)

	保険会社名	保険の種類	保険証券番号	保険金額	管理者	資料
1						
2						

6 負債

	借 入 先	残 額	月々の返済額	管理状況等	資料
1					

7 その他 (現金・株式・貸金債権など)

	種類・特徴等	価 格	管理状況等	資料
1				
2				
3				

本人（ ）の財産目録（続） \* 1枚で書ききれない場合に使用。

3 預貯金

	金融機関名・支店名	種類	口座等の番号	金額	管理者	資料
6						
7						
8						
9						
合計						

4 不動産（土地・建物）

	所在地	地目・構造	用途	面積(m <sup>2</sup> )	管理者	資料
5						
6						
7						
8						
9						

5 生命保険等（契約者・受取人が本人のもの）

	保険会社名	保険の種類	保険証券番号	保険金額	管理者	資料
3						
4						
5						
6						

6 負債

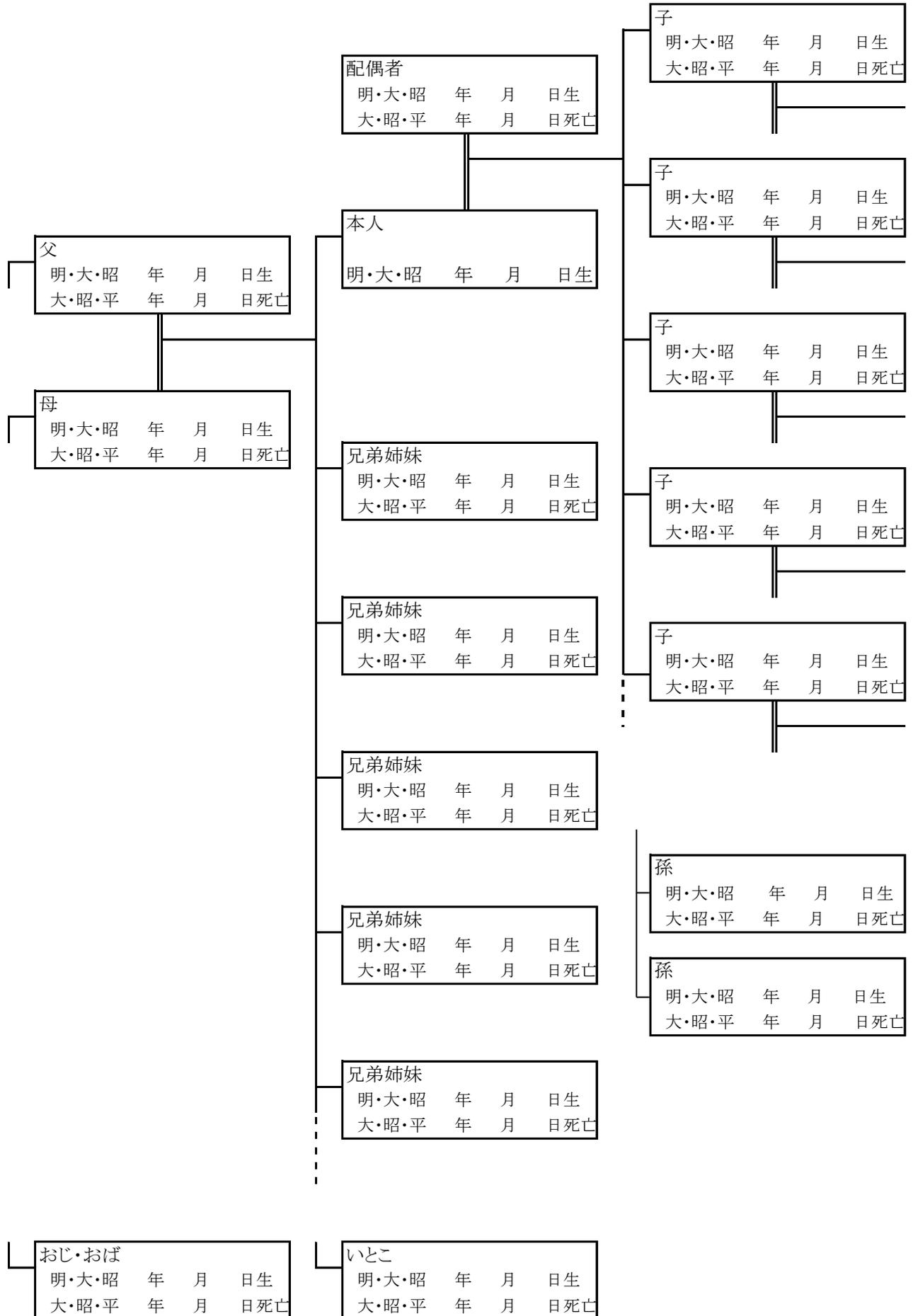
	借入先	残額	月々の返済額	管理状況等	資料
2					
3					
4					
5					

7 その他（現金・株式・貸金債権など）

	種類・特徴等	価格	管理状況等	資料
2				
3				
4				
5				

# 親族関係図

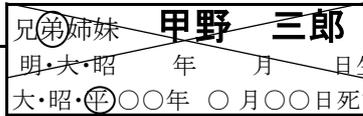
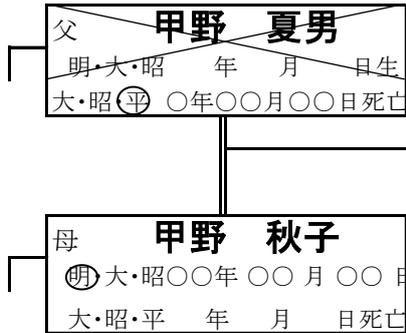
※記入例の記入要領参照



# 親族関係図

## 記入要領

- ・最低限、本人の推定相続人について記入してください。
- ・すでに亡くなった方も記入してください。
- ・亡くなった方には  をつけ死亡年月日を記入してください。
- ・「子」が亡くなっている時は、孫も記入してください。
- ・記載すべき親族が多い場合など書ききれない場合は、この例を参考に適宜の用紙(A4又はA3版)で作成して差し支えありません。
- ・生年月日、死亡日が不明の場合でも、氏名は必ずご記入ください。

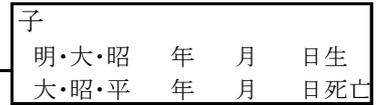


## 記入例

(申立人)



(後見人候補者)



亡 甲野次男子



# 任意後見受任者事情説明書

(この説明書は受任者自身で記入してください)

記入年月日及び記入者の氏名

平成 年 月 日 氏名： 印

## 1 受任者の住所等を記入してください

住所：〒	—
電話：	( )
携帯：	( )
生年月日：大正・昭和	年 月 日
職業：	・本人との関係：

## 2 受任者は次のいずれかの事由に該当しますか

- 未成年者
- 家庭裁判所で成年後見人等を解任された者
- 破産者で復権していない者
- 本人に対して訴訟をしたことがある者，その配偶者又は親子である者
- 上記のいずれにも該当しない

## 3 身上・経歴について

(1) 受任者の家族（親，配偶者，子，その他の親族）を記入してください

氏名	年齢	続柄	職業（勤務先，学校名）	同居・別居の別
				同・別

(2) 受任者の経歴（出生，学歴，職歴，結婚，出産等）を記入してください

年月日	学歴・職歴・結婚・転居等	(左欄下から続く)	
	出生		
最終学歴	卒業・中退		

4 受任者の経済状態について記入してください。

- (1) 収入：月収 約 \_\_\_\_\_ 万円  
内訳：給与等 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 万円  
年金等 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 万円  
その他の収入（内容 \_\_\_\_\_） \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 万円

※収入がない場合：

生活費を負担している人の氏名 \_\_\_\_\_

負担している人の月収 約 \_\_\_\_\_ 万円

- (2) 資産： 不動産 有（ \_\_\_\_\_ ）  
無

預貯金（株式、国債等を含む） \_\_\_\_\_ 万円

- (3) 負債： 借入先 \_\_\_\_\_ 借入目的 \_\_\_\_\_ 負債額 \_\_\_\_\_ 万円  
\_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ \_\_\_\_\_ 万円

5 今後の方針，計画を具体的に記載してください。

- (1) 療養看護の方針，計画について

（今後の生活の拠点，必要となる医療や福祉サービス，身の回りの世話等）

- (2) 財産管理の方針，計画について

（大きな収支の変動，多額の入金の予定があれば，その管理方針等も記載してください）

6 今後、本人のために多額の出費や不動産の処分等を予定している時は、その内容と理由（出費の目的、時期等）を具体的に記載してください。

7 これまでに本人のために立て替えて支払っているものがあれば、その費目、金額を記載してください。（領収書等を持参してください）

※ 用紙が足りない時は、A4判の適当な用紙を利用してください。

## 必要書類等チェックリスト

申立ての手引きをよくお読みいただき、以下のチェックリストに記載した書類をそろえて申立てをしてください。

No.	名 称	チェック	備 考
1	申立書		
2	収入印紙 ①申立手数料 800円分1組		
	②登記手数料 1400円分1組		
3	郵便切手 3030円(500円4枚, 82円10枚, 50円2枚, 10円10枚, 2円5枚)		
4	任意後見用診断書, 診断書別紙		
5	本人の戸籍謄本		
6	任意後見受任者の戸籍附票または住民票		
7	本人の登記されていないことの証明書		
8	本人の後見登記事項証明書(任意後見)		
9	任意後見契約の公正証書写し		
10	申立事情説明書		
11	本人に関する資料		
	1 本人事情説明書, 財産目録, 親族関係図		
	2 健康状態がわかる資料(コピー) 精神障害者手帳, 身体障害者手帳, 療育手帳, 要介護度がわかるもの(介護保険認定書など)		
	3 不動産についての資料 ①土地建物登記簿謄本 ②固定資産税評価証明書(固定資産税納税通知書のコピーでも可)		
	4 預貯金, 投資信託, 株式についての資料(コピー) 通帳, 残高証明書, 預かり証, 株式の残高報告書など		
	5 生命保険, 損害保険についての資料(コピー) 生命保険証書, 損害保険証書等		
	6 負債についての資料(コピー) 金銭消費貸借契約書, 返済明細書など		
	7 収入についての資料(コピー) 確定申告書, 給与明細書, 年金額決定通知書など		
	8 支出についての資料(コピー) 各種税金の納税通知書, 国民健康保険料・介護保険料の決定通知書, 家賃/医療費/施設費の領収書など		
9 本人の親族の遺産分割が目的の場合 遺産に関する資料, 相続人関係図など			
12	任意後見受任者事情説明書		